

令和2年8月1日

鶴見川流域にお住いの会員の皆様

鴨志田町内会
会長 戸塚 昌行

「風水害に対する事前の備え」(横浜市編)の配布

前略

昨年9月に発生した台風15号では千葉県房総半島で鉄塔倒壊や大規模な停電・断水が発生し、10月の19号では首都圏で「計画運休」と言う交通網の一斉運休となった被害は、皆様の記憶に残っていると思われます。

本年も台風シーズンも近づいており、既に「令和2年7月豪雨」での球磨川等の氾濫被害のニュースが大きく報道されました。

横浜市と青葉区の「広報よこはま」6月号「特集 風水害に備える」では、青葉区は崖地と河川に要注意！が指摘され、河川は10～20分で急激に増水するので注意が必要との記事が掲載されています。

今回、鴨志田町内会では防災力強化の一環として、鶴見川流域にお住いの方々にこれから広報記事をお読みいただき、風水害への備えの強化をお願いする事としました。

事前準備の添付資料は、1)地域の危険性の把握、2)気象情報・避難情報の理解、3)情報収集手段の把握、4)避難行動の理解 及び5)非常時の持ち出し品の準備について解り易く書かれています。

上記目的をご理解いただき、家族の避難行動計画を立てる事を強くお勧めします。

尚、自宅・近隣等で安全な避難場所が見つからない場合は、鴨志田緑小学校が避難所となります。小学校の避難所は、警戒レベル3以上で自動的に開設されますので、躊躇せず小学校に避難下さい(対応は青葉区役所ですので、小学校への電話は不要です)。

避難所には添付資料のStep5の持ち出し品リストの物品を出来る限り持参ください。特にマスクと体温計の持参は必須となっています。

以上